

大学も、コロナ以前の風景が日常となってきました。教室は、隣の学生と間隔を空けずにびっしり座っています。一方で、ウィルスは勢力を伸ばしているようで、十一月にはトリプルデミックという言葉を聞きました。コロナ・マイコプラズマ・インフルエンザの罹患者が増加しているのです。私も流行に乗ったよう

です。十月初旬に発熱・倦怠感をおぼえ、病院に行きましたが検査はされず風邪薬を処方されました。

五日間、だるさと息苦しさで発熱に耐えましたが、改善が見られず病院に行くとインフルエンザA型と診断されました。

診断を言われた時に「インフル！」と叫んでしまいました。私はインフルエンザのベテランで、

B型一回・A型三回感染しています。ベテランとして、これはインフルではない！と確信していましたし、周囲にもそのような人がいなかったで、無理をして症状をこじらせてしまいました。

経験は、人生において重要ですが、時に過信を生みミスを犯させ

ることがあります。

先日、電車から降りる際に前の若い女性が私の前で突然止まりました。つまずきそうになり不思議に思っていると、女性はスマホを見て止まっていました。私は瞬間的に「イラッ」としましたが、その後、何事もなかったかのように、その女性は歩き出しました。心に

「もやもや」を残し、私も歩き出しました。

「もやもや」の原因は些細なことでもイラついた自分に対してでした。自分だってそんなことあるし、もしかしたらそのメールはものすごく重要な事だったのかもしれないと、その女性の状況に思いを巡らせました。本当のことは誰にも分らないのです。

学 生 相 談 室

だ よ り **127**

カウンセラー 白石まりも

名探偵コナンは「真実は一つ！」と言います。確かに真実は一つですが、本当の事は人の数ほどあると思います。なぜならそれは、その人にとつての本当の事だからです。どんな問題にも自分だけの真実という正義で行動せず、相手へのリスクペクトを大事にして、日々学生と向かいあうよう心がけています。